

ヒメボタル分布調査を行いました

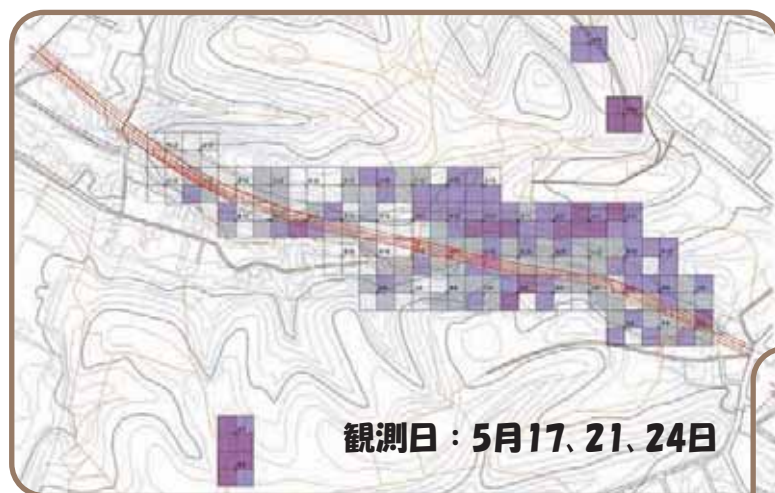
5月下旬から6月上旬にかけ合計5日間、今年もヒメボタル分布調査を実施しました。今年度の調査範囲は、主に道ぎわの51ポイントです。

ヒメボタル分布調査の概要

調査方法 調査範囲を40mメッシュに区切り、各メッシュ内を30秒間観測して目視できたヒメボタルの数をカウントしました
調査時間 夜10時～12時の2時間の間で行いました

工事着手前の平成14年から、ヒメボタル分布調査を継続しています。各観測ポイントにおいて、ヒメボタルが観測された日数を調査年度ごとに整理しました。代表して、工事着手前の平成14年、主な工事が行われた平成17年及び平成19年に加えて今年の観測日数を掲載します。

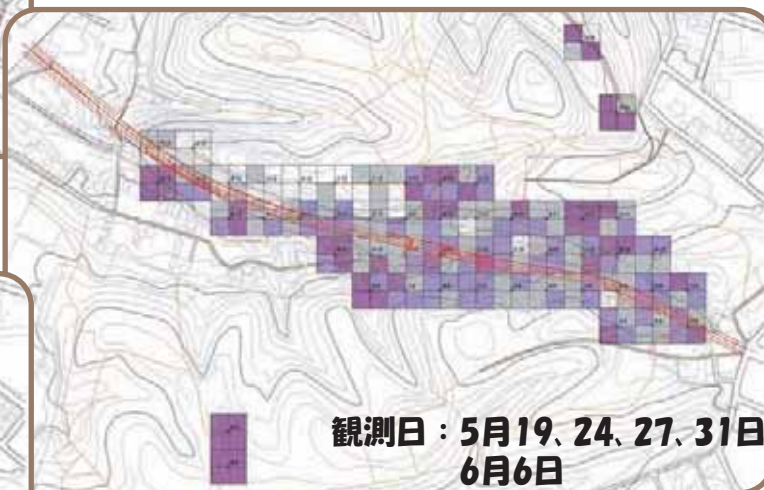
工事着手前：H14年度 観測日数



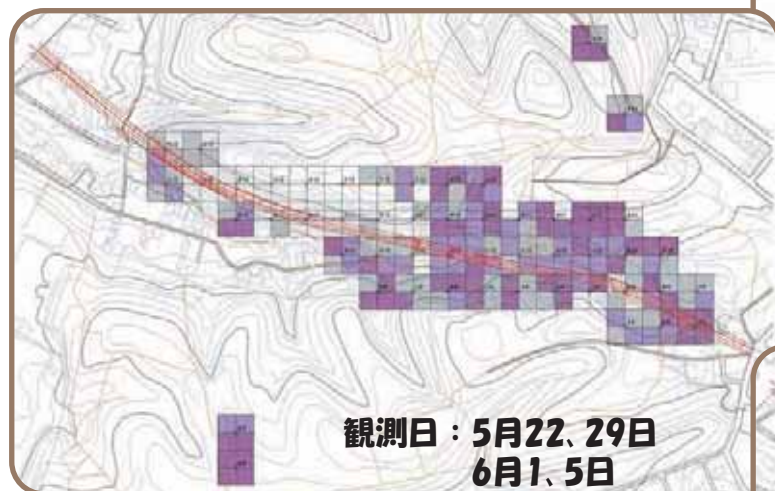
観測回数 凡例
 □ 観測日数0日
 □ 観測日数1日
 □ 観測日数2日
 □ 観測日数3日以上



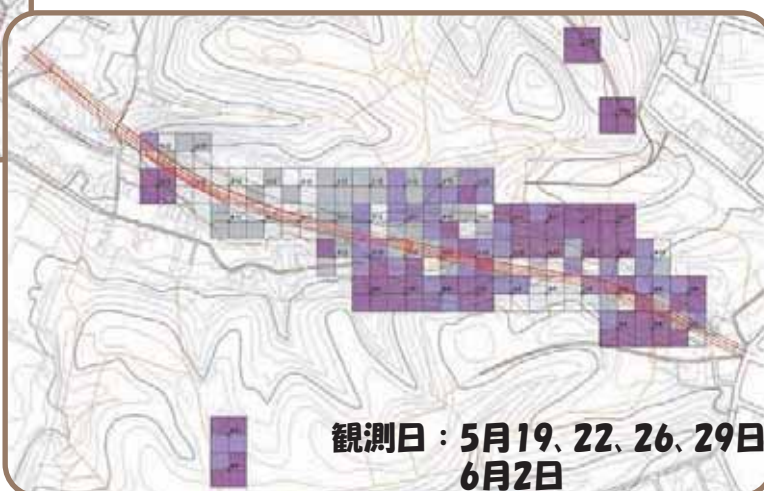
工事着手後1：H17年度 観測日数



工事着手後2：H19年度 観測日数



工事着手後3：H21年度 観測日数



両側から工事が進んでいますが、全体としてヒメボタルの確認される場所が大きく変化している様子はありませんでした

◇グループ活動

★植物グループ

コドラート調査、定点写真調査の観測ポイントを確認しました

観測ポイントの樹種や生育状況などをグループ活動で確認しました。



よう壁下のコナラ

表土の掻き出しを行ったよう壁下で、コナラが芽を出していました。定点写真調査の観測ポイントを増やして、回復状況を見守っていきます。

～ 定点写真調査より（シェルター構造上部）～



森の緑が繋がってきました。移植した樹木の成長により植生の回復が進んでいます。

★交通グループ

7月2日、大学生に自転車走行実験をしてもらいました

交通グループでは、歩行者と自転車が安全に通れるような歩道にするために歩道の形態や標示などを検討してきましたが、今回はその実験に大学生に参加してもらい、実験後は意見や感想をもらいました。

～ 実験のようす ～

実験方法の確認



実験中・・・

路面標示を付けると通り方に違いが出てきました

実験中・・・



歩行者と自転車が一緒に通ることを想定した実験

意見・感想



下り坂では速度が速くなるので、後ろから来た自転車が怖いと感じます